

社会司牧通信

2022年 9月

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 社会司牧担当では、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

2022.9『すべてのいのちを守るための月間』

★広島教区 白浜司教様メッセージ

[「被造物を大切にする世界祈願日」に寄せて \(hiroshima-diocese.net\)](http://hiroshima-diocese.net)

小教区での取り組み事項があれば、平和の使徒推進本部まで、お知らせください！



★カトリック中央協議会 カリタス・ジャパン TOGETER WE キャンペーン

カリタスは「ともに暮らす家（地球）」「ともに生きる兄弟姉妹」の叫びに耳を傾け、そしてその叫び、人々を中心に置いた社会、すべての人の尊厳を守ることができる社会に変えていくために、今回のキャンペーンを展開します。このキャンペーンは、回勅『ラウダート・シ』『兄弟の皆さん』などを通して、教皇フランシスコが示された「すべてはつながっている」という総合的エコロジーのもと、相互協力の新たな感覚（ケアの文化）と新しい連帯の形（ケアの共同体）を進めていこうというものです。

[TOGETER WE キャンペーン 2022年 気づきの年 - Caritas Japan](http://caritas-japan.org)



● その他

★カトリック中央協議会 日本カトリック司教団からの呼びかけ

日本政府にお願いします。在留資格のない両親のもとに生まれ育ち、強制送還の危機にさらされている300人もの子どもたちとその家族に、人道的な観点から、在留許可を与えてください。

（注：電子署名です。寄付や献金は集めておりません。）

[在留特別許可嘆願署名キャンペーン | カトリック中央協議会 \(catholic.jp\)](http://catholic.jp)



★ 2022 広島教区平和行事 報告

今年も、コロナ禍の中、無事平和行事を終えることが出来ました。教区内限定という体制でしたが、山口地区～岡山地区からも集うことが出来ました。当日のミサ・講演会の様子は、下記にて現在も配信されております。是非、ご覧ください。

[平和行事 \(hiroshima-diocese.net\)](http://hiroshima-diocese.net)



【ご報告】『唯一の戦争被爆国日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を

求める署名』「核なき世界基金」を支援する会（広島本部）取りまとめ

平和行事で回収しました署名は、合計 337 筆 募金 7,600 円
ご協力ありがとうございました。 原水爆禁止日本協議会署名事務局に送付いたします。

9月1日より、世界のカトリック教会はエキュメニカルな交わりのなかで、「被造物の季節」を過ごしていきます。教皇フランシスコは「被造物を大切に作る世界祈願日」のメッセージにおいて、「被造物の悲痛な叫び声に声を合せて泣き、それに耳を傾け、行いをもってこたえることを強く勧めています。それはエコロジカルな回心の最初のプロセスともいえるでしょう。

ラウダート・シのゴール「LSGs」では、地球の叫びへの応答として具体的に、「再生エネルギーの利用拡大と化石燃料の削減」「生物多様性の保護」「清潔な水へのアクセスの保証」などを挙げています。特に私たちが注目したいのは、化石燃料に関しての日本の現状です。日本は資源に乏しいこともあり、エネルギー供給の8割以上が化石燃料に頼っています。日本の温室効果ガスの排出量は全体として減少傾向にありますが、CO₂ 排出量は世界で5番目です。（中国・アメリカ・インド・ロシア・日本の順）しかし、これを1人が1年間出す二酸化炭素の排出量（CO₂ 換算）で比べると日本は8.9トンで3位に浮上します。つまり私たちの生活は地球温暖化の原因となる二酸化炭素などをより多く出す生活なのです。

私たちは痛みや、病気になってはじめて治療に取り掛かります。ですから、この生活がどれほど地球に痛みを与えているのかを実感しなければ、改善していくことは難しいのかもしれない。だからこそ聴きましよう。地球が何を叫んでいるのかを。

チャレンジ！1日1キロのCO₂削減例

◆冷房の設定温度、暖房の設定温度の見直し

冷暖房の設定温度が2度変わるだけで、1日あたり約90gの削減ができるといわれています。

◆照明は電球から蛍光灯LEDに

エネルギー消費量の少ない照明器具で1日あたり45g削減が可能になります。

◆主電源をなるべく消す（待機電源を減らす）

主電源を消す、使わない電化製品のコンセントを抜く等の省エネで1日あたり100g削減になります。

◆シャワーの時間を1日1分短く

1分短くすることで1日70gの削減になります。

◆1日5分のアイドリングストップ

5分間アイドリングを短くすることで1日60gの削減になります。

◆エコバックの使用

レジ袋を使用しないことで1日50gの削減になります。



Sr 橋本「チャレンジLSGs」出張出前講座 無料 9月～2023年5月までの日曜日

小さなグループでの分かち合いや講座等、様々な要望に応じます。 ◎申込みは、下記まで↓↓↓

★子どもと女性の人権擁護デスクより

教会内でのハラスメント相談受付中

電話番号 080-9795-3676

H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social

社会へのチャレンジ『平和』

発行

平和の使徒推進本部 社会司牧担当

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019

info@social-desk.net

ホームページ <https://www.social-desk.net/>